



# 公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第113号 2019年12月18日 発行

## 中学生のキャリア教育支援事業について

理事 米田 貢(金沢大学)

当会は中学生のキャリア教育支援に取り組んでいる。その取り組みは、作業療法体験セミナー、職業講話の講師派遣、わくワーク職場体験の受け入れ支援、これら支援活動を啓発するための会員による中学校訪問である。今年度で2年目となり、多くの会員の協力の下、軌道に乗りはじめ、県市町村の教育委員会や学校の先生方からも着実に評価をいただいている。今年度からは「わくワーク職業体験」の支援にも取り組みはじめた(表1)。

表1. 中学生に対するキャリア教育支援の現状

	令和元年度	平成30年度
中学校訪問	21件	28件
体験セミナー	5人	4人
職業講話	5件(受付中)	9件
わくワーク職業体験	10人	(実施せず)

(公社)石川県作業療法士会

中学生が職業体験やセミナーを通じてどのようなことを考え、感じているのか、石川県立金沢錦丘中学校、金沢市立西南部中学校のわくワーク体験の報告や参加の感想の中からいくつか紹介する。

### 1) 働くことの厳しさや喜びを感じたこと

- ・ ありがとうと感謝されることが嬉しかった
- ・ 先のことを考えて取り組まないといけないことは大変だったが、それが当たり前のようにできるようになりたい

### 2) 今の自分ができることや将来に向けて身に付けた力など

- ・ 笑顔、積極的にコミュニケーションをとることで相手を笑顔にできるようにしたい
- ・ 将来の夢を深く考える機会になった

### 3) 自分が考えていた課題と各業種が実際に抱えている課題について考えたこと

- ・ 当初「やりがいが少ない」という問題があると思ったけれど、参加して違った
- ・ リハビリに興味を持ってくれる人が増えること
- ・ 作業療法という仕事あまり知られていない

参加した中学生の多くが、とても良い感想を述べてくれている。同時に作業療法がまだまだ認知されていないという我々が取り組むべき課題も明らかにしてくれた。

今後も継続できるよう多方面からのご支援ご協力をお願いしたい。



作業療法体験セミナーおよびわくワーク職業体験より

## 第33回 石川県リハビリテーション風船バレーボール大会

企画部 理事 白山 武志(金沢西病院)

9月28日(土)、いしかわ総合スポーツセンター(サブアリーナ)にて、石川県リハビリテーション風船バレーボール大会を開催した。出場チーム19チーム(15施設)、出場選手148名、学生ボランティア40名、協力会員104名(前日準備・当日)が参加した。33回目の大会を無事に終えることができたのも、ひとえに後援諸団体のご支援と県内の病院、施設のご協力のおかげであり、この場をお借りして深く御礼申し上げる。金沢大学、金城大学、金沢リハビリテーションアカデミーの各養成校からは、多くの学生にご協力いただき、先生方と学生の皆さんにも感謝を述べたい。今大会は、サブアリーナでの初開催であり、コートや本部の配置場所をはじめ、選手の動線や器具の運搬方法など綿密な打ち合わせが必要であった。至らない点もあったと思うが、参加施設や会員のご協力のおかげで滞りなく行うことができ、企画部一同、安堵している。大会の結果として、「一般部門」では、昨年の優勝チームが予選で敗退するなど、参加7チームでの熱戦が繰り広げられた中、安定した強さを備えた青山バルーンが優勝した。「シルバー部門」は、8チームが参加し、シルバーストーンが予選、決勝とも危なげなく勝ち進み優勝した。初出場の施設(みらいのさと太陽)が、応援を背に勝利する姿が印象的であった。

風船バレーボール大会は、昭和62年から毎年開催しており、石川県全域から参加して頂いている。子供から大人まで誰でも楽しむことができ、ルールがきっちり定められたスポーツであり、この大会を目標に各施設では練習に励み参加されている。スポーツには、健康増進や気分転換、社会参加などいろいろな意味があり、これらの場を提供することも石川県作業療法士会として重要であると考えている。

今大会でも選手や応援に来られた方々の笑顔や声援、大きな拍手を感じることができた。これからも身体や心に障がいがある方が風船バレーボー



ル大会に参加し、心から楽しめるようにサポートしていきたい。

### 【試合結果】

#### 「一般部門」

- 1位 青山バルーン
- 2位 チームさくら
- 3位 チームさくらんぼ

#### 「シルバー部門」

- 1位 シルバーストーン
- 2位 白山会ちよの会
- 3位 ふれあいレッツゴー



## 連載 第2回 情報発信!

# 自動車運転支援に対する先進的な取り組み

運転と作業療法に係る委員会 柿崎 亜紗奈(石川県済生会金沢病院)

昨年、日本作業療法士協会による運転支援に関する事業の一環で、自動車運転支援(以下、支援)に先進的に取り組んでいる、新潟県の回復期リハビリテーションを実施する医療法人愛広会 新潟リハビリテーション病院、ならびに新潟県運転免許センターと水原自動車学校へ、県士会員4名で見学する機会を得た。

支援の取り組みは、新潟リハビリテーション病院の医師とリハ職が、免許センターや自動車学校、さらに新潟県指定自動車教習所協会(県内自動車学校が加盟する協会)へ支援協力を依頼したことから、連携がスタートした。

先駆的な取り組みとして、県自動車教習所協会の理事が、積極的に実車評価へ協力できるように、障害のある人の運転再開支援教習カリキュラム(適性検査・運転技能の確認・アドバイス)を考案し、県内指定自動車教習所の会員に通達したことで、支援に協力する教習所が増加した。さらに、新潟標準カリキュ

ラムにヒアリングや運転技能時間を追加し、実車評価を行っている。

その他として、同県の3つの医療機関の関係者で「障害と自動車運転に関する研究会」を発足し、医師やリハ職などが参加し、研究会の開催、免許センター・教習所への訪問・相談、医療機関からの相談対応、会員への情報提供を行っている。

視察を通して、各機関の担当者同士の顔の見える関係が構築され、適切な支援が提供されていることを感じた。当委員会としても研修会や勉強会を通して県内の支援の実状を確認し、作業療法士間・関係機関と円滑に連携できるように活動内容を検討していきたい。

○1月18日(土) 時間・場所未定

第2回勉強会を開催予定。1事例の検討と、参加者の日頃の疑問や悩みを事前に募集。当日回答・検討する予定。ぜひご参加下さい。

## 新・指定規則における臨床実習のあり方 ～指導者の要件と臨床実習指導者講習会について～

理事 種本 美雪(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

理学療法士及び作業療法士の養成校指定規則が平成30年10月に改正を受け、臨床実習指導者の要件は、実務経験が5年以上となり、厚生労働省が指定する「理学療法士作業療法士臨床実習指導者講習会」を修了することが必須となった。県士会ニュース112号で紹介した実習時間への対応も含め、診療参加型が望ましいと明記された。

(ガイドライン抜粋)臨床実習の方法について、評価実習と総合臨床実習については、実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましいこと。

当会は、県内養成校3校と石川県作業療法教育協議会を設立(県士会ニュース111号で紹介)し、厚生労働

省指定の臨床実習指導者講習会を令和2年2月8日(土)、9日(日)、本校にて開催する運びとなった。経験年数4年以上の臨床実習指導者は是非、受講頂き、臨床実習における学生教育のあり方や指導方法について学び深めて頂きたい。

内容は臨床実習の制度論、指導方法論、管理運営、参加型臨床実習などの理解を深めるために講義6コマ、演習7コマからなる。研修会の詳細や申込みについては以下のQRコードより確認および申込み頂きたい。



講習会の案内



講習会プログラム



申込  
(Google フォーム)



## 第29回石川県作業療法学会のご案内

次期学会長 高多 真裕美(金沢脳神経外科病院)

第29回石川県作業療法学会は、令和2年6月27日(土)午後～28日(日)の1.5日間にわたり金沢医科大学病院にて開催することが決定した。

今回の学会テーマは『人々の健康と幸福を促進する作業療法～専門職としての挑戦～』である。メインテーマは2018年に改定された「作業療法の定義」内の一文である。サブテーマには、学術的根拠に基づいて私たち作業療法士は『挑戦』し続けなくてはならないという思いを詰め込んだ。作業療法士の活躍の場は拡がり、今や自分の職場で自分の専門領域の仕事をしているだけでは通用しない時代となってきた。そもそも専門領域があるのか疑問であるが、認知症対応、地域移動支援、災害時の対応など、共通の課題は山積みである。卒前教育も転換期を

迎え、卒後教育の見直しも急がなくてはならない。今の自分に「できること」と「できないこと」を振り返り、挑戦しなければいけないことを再確認する機会になればと考えている。

特別講演では、佐藤孝臣氏((株)ライフリー、作業療法士)に地域包括ケアシステムについて、また一般公開講座では、西田征治氏(県立広島大学、作業療法士)に認知症予防などの地域支援についてご講演をいただく予定である。また『挑戦』として、ランチョンセミナー、県士会・SIG活動紹介、託児室の設置、Webによる情報発信などを検討している。

演題登録は2月頃を予定している。作業療法士一人一人の挑戦で、地域を、未来を、変えていこう！

## 石川県作業療法士会の災害医療対策の活動について

災害対策委員会 委員長 東 ひとみ(石川県リハビリテーションセンター)

### 1. 災害医療コーディネーターの養成

災害が発生した場合、避難所など現場で活動するチームとその活動を支援する調整チームの両者が必要になる。国際医療技術財団(JIMTEF)では、災害医療に対応できる人材育成を目的に毎年研修を行っている。今回、JRAT石川の支援を受け、当会より4名が第13回JIMTEF災害医療研修ベーシック研修(9月21日～22日、東京)を受講した。本研修は、災害医療の基礎として、災害医療の概論から実際、メンタルヘルスケア、避難所運営(HUGゲーム)、災害と栄養、非常食の実際、生活機能等を学んだ。今回は38都道府県から15職種117名の参加があった。日頃一緒に仕事をする機会がない歯科技工士、はり鍼灸師の意見は、同じ医療職でも考え方の違いに新鮮さを感じた。実際の災害現場でもあると思うと、研修だけでなく日頃から多職種の理解が必要なことを再認させられた。

### 2. 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練の結果報告

9月25日11時に日本作業療法士会の発信の元、当会理事他協力者25名に対して安否確認の訓練を実施した。担当者には職場の会員の安否も確認してもらい、結果として県士会員約850名中245名の安否を確認できた。今後は範囲を拡大し、当会としての災害対策のシステム作りに取り組んで行きたい。



HUGの演習の様子

## 第40回健康づくりフェア開催！

東支部担当理事 桂 靖典(木島病院)



9月28日(土)、29日(日)に金沢健康プラザ大手町にて「第40回 健康づくりフェア～おいしく食べて健康に 食について学ぼう～」を開催した。本イベントは金沢・健康を守る市民の会との共催であり、住みよい環境、明るく健康な市民生活の実現を目指し、市民の健康意欲高揚を図ること

を目的としている。嚥下機能チェックや骨密度測定、口腔機能、足部機能チェックなど様々な職能団体が出展しており、市民の健康づくりに大きく寄与している。

当士会は物忘れチェックや健康イキキ度チェックを評価し、認知症予防のヒントを用い認知症について説明を行った。2日間で延べ87名の市民が当士会のブースを訪れ、時間帯によっては列を作るほどの盛況振りであった。訪問者は70歳代～80歳代の方が多く、最高齢は90歳の方であり、本人の認知機能チェックの希望が大半であったが、家族について相談する方もいた。

末筆になるが本イベントに協力頂いた県士会員に深謝を申し上げる。次年度も健康づくりフェアは開催予定であり、市民の健康づくりに寄与できるよう協力を頂ければ幸いである。

## 第10回石川県訪問リハビリテーション研修会 令和発!!在宅リハビリテーション～共生社会行き～ 開催

在宅支援部 訪問事業委員会 担当理事 村田 明代(やわたメディカルセンター)

石川県訪問リハ研修会が、10月5日(土)、6日(日)に、県リハセンターにてPT、OT、ST計47名が参加して開催された。これは三士会の役員が協働して時流にあわせて企画し、今年で第10回目を数える。

初日は訪問リハ振興財団理事松井一人氏の「共生社会のためにリハ職ができること」、訪問看護ステーションリハケア芦城所長宮本由香里氏の「訪問看護ステーションにおけるリハ職との協働」を拝聴後、「共生社会のためにできること」を討議した。2日目は、かがやきクリニック医師清水雄三氏の「在宅医療における制度とリスク管理」、公立能登総合病院の高名祐美氏の「コミュニケーション力の高め方」で基礎知識を学び、グループ討議では初回訪問での評価やポイント、時間の有効活用の仕方などについて意見交換を行い、訪問時の基本を確認した。和やかな雰囲気の中、目標達成に向けたマネジメントの重要性や、

真の思いを聞き出す関係作りの必要性など多くの学びや気づきを得る機会となった。今後も会員のニーズに合う企画を進めていきたい。



# 各支部支援活動

## 能登支部

小川 正人(恵寿総合病院)

11月8日(金)、羽咋病院での第3回MTDLP事例検討会は38名の参加があった。1事例目の「歩行安定により趣味活動に目を向け、再開できた一例」について、趣味の獲得よりも生活の自己管理、復職に目を向けられなかったかの意見や、生活より趣味が優先された特殊なケースであるが、趣味活動の練習からADL動作の改善につなげるOTとしてのテクニックを丁寧に記載すべきとの意見を頂いた。2事例目の「脊髄損

傷発症後の重度麻痺から病棟ADLが概ね自立した事例」について、予後予測のためには医学的情報が大切でデータをまとめる経験により自分の考えもまとめられていくとのアドバイスを頂き、いずれも大変参考になった。令和2年2月1日(土)に能登小牧台にて村井千賀氏を講師に「ICFの基本的な考え」についての研修会と食談会、2月2日(日)に事例検討会を予定している。

## 金沢東支部

堀江 翔(金沢大学附属病院)

この期間に3つの事業を行った。まず今年度第2回のMTDLP事例検討会を9月25日(水)、金沢医科大学病院にて開催した。事例は肺癌、脊椎転移の左片麻痺男性で大学病院らしい事例であった。予後を考慮した生活行為の検討であり、1事例であったが広い視野での考え方、深い議論ができたと思う。また、9月28日(土)、29日(日)には金沢市の健康づくりフェア

にてOTブースを設置、認知症相談等へのべ87名の参加があった。10月25日(金)には金沢大学附属病院にて事例検討会を行った。前回8事例、今回7事例と多くの事例を深く検討することができたと思われる。このペースを維持できるよう活動していきたいと思う。第3回的事例検討会は令和2年1月17日(金)に変更となったため、ご了承願いたい。

## 金沢西支部

長原 美穂(石川県リハビリテーションセンター)

第3回MTDLP事例検討会を令和2年2月5日(水)に岡部病院にて開催する。今回は、精神科病院での開催でもあり、様々な領域の方の参加を期待する。研修会・第3回事例検討会を2月22日(土)に金沢脳神経外科病院にて開催する。研修会は、金沢福祉用具情報プラザ館長安田秀一氏を講師に迎え、普段関わりの多い介護保険貸与の車椅子に焦点をあて、OTとして押さえておきたい車椅子選定のコツとポイントをご講義いただく予定である。新人からベテランまで、身体

障害領域だけでなく高齢者や精神科領域の方にも共通するものと思われるので多くの参加を期待している。また、今研修会は、お子様連れでも参加できるよう別室にモニターを設置して実施するのでお子様連れでの参加も大歓迎である。

前回事例検討会は、6事例の検討及び日本OT学会の報告が行われとても知識が深まる内容の濃い検討会であった。次回の第3回も多くの発表者・参加者を期待する。

## 加賀支部

西村 幸盛(片山津温泉・丘の上病院)

10月16日(水)森田病院にて第2回MTDLP事例検討会を開催した。27名が参加し、2事例が報告された。左大腿骨頸部骨折を呈した事例に対し、在宅復帰後の県外旅行に向けた介入方法について、歩行距離や持続時間などの数値を明確にし、段階的に行動範囲を広げてはとの意見があった。ファシリテーターからは骨折後の生活への不安から不活発、さらに寝た

きりになるリスクについて言及があった。2事例目は人工肛門造設術後に在宅復帰を摸索した事例の独居生活の支援や合意形成のあり方について討議された。安否確認や在宅サービスを検討することから、生活の仕方を具体的に分析し、道具や環境調整を通した工夫や提案方法についてアドバイスがあった。



## 『在宅支援の幅を広げよう！』研修会を開催して

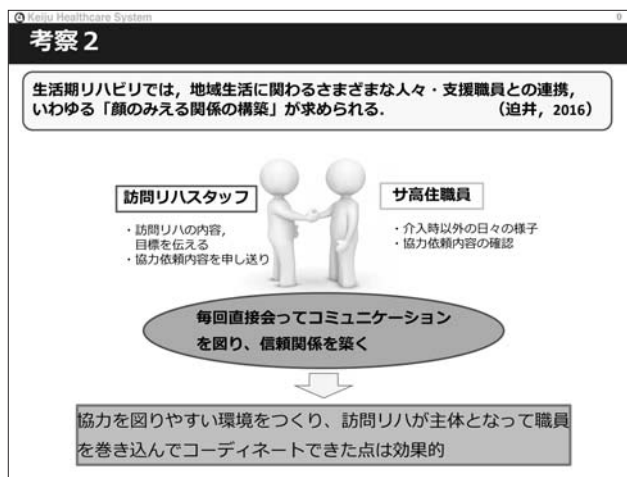
在宅支援部施設事業委員長 買手 登美子(能美市介護老人保健施設はまなすの丘)

10月26日(土)金沢流通会館で標記研修会を開催した。新人から経験年数20年以上のベテランまで25名の参加があった。五十嵐満哉氏(恵寿総合病院)、若村浩樹氏(特別養護老人ホーム自生園)、長山知広氏(株式会社サンウェルズ)からそれぞれの施設の特徴や日々の業務内容、工夫していることや困っていることを発表してもらった。

特に五十嵐氏からはサービス付き高齢者住宅に訪問し、本人の強みを生かしたアプローチを実施し、作業療法士のねらいをサービス付き高齢者住宅の職員に説明する努力という内容が報告され、印象的であった。

それぞれの講義の後は各施設と明日からどのよう

に連携していくかについて話し合い、具体的な行動目標を掲げるというグループワークを行ない実践的に学びを深めることができた。



講師スライドより

## 『地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業』 ～県PT・OT・ST連絡会の取り組み～

副会長 寺田 佳世(石川県リハビリテーションセンター)

地域包括ケアが促進される中、各地域のリハ専門職が市町事業を理解するとともに、地域支援事業の要点を押さえた人材の育成を目的に、県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会とリハビリテーションセンターとの協働により、H27年度から研修会を開催しており、昨年度、リハ専門職の資質向上と支援組織の充実を目指し、図に示す体制を整えた。

各職能団体の研修ならびに県で実施する研修①②の修了者を県士会から推薦し、本人の同意後、市町事業に関与できる協力者として今年度より県のホームページに掲載されている。

今年度の研修②は、令和2年2月16日(日)、いしかわ総合スポーツセンターを会場として開催を計画しており、リハ専門職からの実践報告が行われる。



今後も多くの協力者が育成されること、また、自分の働く地域を理解しより質の高い支援を対象者に提供するためにも、これらの研修への参加に努めてほしい。

## ◆◆◆令和元年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和元年 9月 11日(水) 19時～21時25分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、安本、麦井、大西、村田、明福、渡邊、寺尾、河野、高多、米田、桂、白山、中森、永井、種本、合歡垣  
(理事16名) 長原、小川(支部長2名) 山本恭、山下(書記2名)
3. 議 事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告  
 【加賀支部】9月29日開催の研修会前日に講師を招いての懇親会を開催予定。  
 【金沢西支部】『福祉のつどい2019金沢』について報告。当日会場で広報誌COTOTを配布した。  
 【発達障害支援部】発達障害のパンフレットが完成、発達障害に関わる県内OTにアンケートを発送時に同封。  
 【健康福祉部】11月23日に研修会を開催する。テーマは検討中。  
 【在宅支援部 訪問事業】今年度高度・専門医療人材養成支援事業補助金の使途について上程案件あり、「地域で在宅生活に関わる作業療法士の育成」としての他事業とは、併用が可能と決定。  
 【認知症対応委員会】令和元年度日本作業療法士会認知症作業療法推進委員は大西理事と岡田千砂氏に決定。  
 【地域包括ケアシステム推進委員会】日本作業療法士協会主催人材育成に係る研修会にて、今年度で協会の委員会は終了が決定。残る下半期の活動予定について報告。  
 【災害対策委員会】9月25日のOT協会による訓練について、連絡方法を確認。  
 【PT・OT・ST連絡会】今年度の市町事業に関わるリハ専門職育成の導入研修②は当会が主催。  
 【財務部】事業報告書の書式変更について報告。次年度事業計画及び予算作成について赤字予算防止のため検討。  
 【執行部】11月30日～12月1日開催の東海北陸リーダー研修会の会場変更と講師決定について報告。

## ◆◆◆令和元年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和元年 11月 13日(水) 19時～19時20分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、安本、麦井、大西、村田、明福、渡邊、高多、米田、桂、白山、中森、永井、種本、合歡垣  
(理事16名) 後出(監事1名) 堀江、長原、小川、西村(支部長4名)  
山本恭、山下(書記2名)
3. 議 事 議決事項 令和元年度補正予算について  
 臨床実習指導者講習会が追加されたことで約25万円の赤字予想と財務担当理事より報告。後出監事より赤字の補てん方法を検討するようにと助言があり、会長より下半期の事業内容を検討する旨を回答。全員一致で承認された。

## ◆◆◆令和元年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和元年 11月 13日(水) 19時25分～22時 西泉事務所
2. 出席：第3回理事会に同じ
3. 議 事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告  
 【学術部】次年度県学会について高多学会長より内容の提案。県士会は若手や子育て世代を含めた全世代の作業療法士が、身近で発表が出来る場として位置付けていくことを確認。  
 【病院医療部】12月8日開催予定の達人OTセミナーへの参加者追加募集について上程。より多くの参加者を募るため期日を設けずに募集することを検討。  
 【発達障害支援部】発達障害に関わる作業療法士によるアンケート結果を報告。  
 【在宅支援部施設事業】10月12日開催予定のいしかわ介護フェスタは台風接近の為中止となった。  
 【在宅支援部訪問事業】12月14日開催予定の研修会案内で参加費の訂正があった。参加申し込み者に連絡予定。  
 【企画部】次年度風船バレーボール大会の開催候補日を9月13日と10月3日に決定。  
第2号議案 令和2年度事業計画について  
 当会が学術団体から職能団体としての業務が急増している事、公益団体としてその性格上、市町や色々な要請に対応が必要な事、一方で教育の重要性、人材育成と大変多岐に渡ることから、来年度の事業見直しについて執行部より提案があった。次回理事連絡会(令和2年1月15日予定)で次年度の事業を再検討した予算を作成することを決定。



研修会などスケジュール(1/6 ~ 3/22)

月	火	水	木	金	土	日
1/6	7	8	9	10	11	12
1/13	14	15	16	17	18	19
		健康福祉部・情報交換 (かほく市内を予定)		東支部・第3回事例 (金沢大学附属病院)	運転と作業療法・運転支援事例検討会 (会場未定)	教育部・現職者共通研修6&7 (芳珠記念病院)
1/20	21	22	23	24	25	26
		東支部・第3回 MTDLP (青和病院)			認知症対応委員会・認知症アップデート研修 (金沢リハビリテーションアカデミー)	
1/27	28	29	30	31	2/1	2
					能登支部・能登支部研修会 (国民宿舎 能登小牧台)	能登支部・第3回事例 (国民宿舎 能登小牧台)
2/3	4	5	6	7	8	9
		西支部・第3回 MTDLP (岡部病院)			厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会(石川県) (専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)	
2/10	11	12	13	14	15	16
		加賀支部・第3回事例 (やわたメディカルセンター)			精神医療部研修会 (金沢大学保健学類)	地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業/研修会(2) (県PT・OT・ST連絡会)
2/17	18	19	20	21	22	23
					西支部・第3回事例検討会/研修会 (金沢脳神経外科病院)	
2/24	25	26	27	28	29	3/1
3/2	3	4	5	6	7	8
				能登支部・第4回事例 (輪島病院)		
3/9	10	11	12	13	14	15
3/16	17	18	19	20	21	22
		ニュース114号発行		病院医療部・診療 /介護報酬改定研 修会(場所未定)		

**金城大学 医療健康学部 理学療法学科/作業療法学科**  
 全国でもトップクラスの国家試験合格率と100%の就職率！  
 幅広い知識と実践力を持つ医療・福祉のリーダーを養成し、地域の健康を支えています。

社会福祉学部  
社会福祉学科  
子ども福祉学科

医療健康学部  
理学療法学科  
作業療法学科

看護学部  
看護学科

大学院  
総合リハビリテーション学研究所  
総合リハビリテーション学専攻 (修士課程)

金城大学 入試情報部 TEL: 0120-276-150 E-mail: nyushi@kinjo.ac.jp

**作業療法士 募集**  
 パーキンソン病専門の  
 リハビリ施設

【我がまに生きる】という施設ビジョンのもと、利用者様の望みである“病気だから仕方ない”ではなく“病気でも出来る”ようにやりたい事に挑戦できること、ここで働くセラピストの想いや技術が“しっかりと活きる”未来ある場所になるように考えています。

勤務地 ●PDハウス小坂 石川県金沢市小坂町北123-1  
 ●PDハウス白山 石川県白山市北安田西2-17

年収 456万円 (月給28万+賞与120万円)

2023年実現に向けて働き方改革

公休数 120日 残業 0時間 有給取得 100%

株式会社サンウェルズ PDハウスの働き方を公開中！施設見学・個別スマホ説明会随時開催中！！

0120-905-166 365日受付中! 10:00~19:00

## 賛助会員名簿 (順不同)

### A会員

社会医療法人財団董仙会  
学校法人 金城学園

### B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ  
社会福祉法人 徳充会 青山彩光苑  
特定医療法人 団勝木会  
医療法人 団和宏会

### C会員

粟津神経サナトリウム  
石川県済生会金沢病院  
石川県リハビリテーションセンター  
医療法人 団浅ノ川浅ノ川総合病院  
医療法人 団浅ノ川金沢脳神経外科病院  
医療法人 団浅ノ川桜ヶ丘病院  
医療法人 団浅ノ川千木病院  
医療法人 団映寿会  
医療法人 団さくら会 森田病院  
医療法人 団慈豊会

医療法人 団丹生会  
医療法人 団生会 えんやま健康クリニック  
医療法人 団千木福久会  
医療法人 団扇寿会  
医療法人 団長久会  
医療法人 団同朋会  
医療法人 団中田内科病院  
医療法人 団洋和会  
医療法人 団輪生会  
医療法人 積仁会  
金沢医科大学病院  
独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院  
金沢赤十字病院  
公立穴水総合病院  
公立宇出津総合病院  
社会福祉法人 篤豊会  
公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北クリニック  
公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院  
珠洲市総合病院  
芳珠記念病院

医療法人 団博洋会  
医療法人 団持木会 柳田温泉病院  
医療法人 団博友会  
医療法人 団光仁会  
宇野酸素株式会社  
金沢義肢製作所  
株式会社 トータルシステム  
株式会社 トミキライフケア  
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店  
株式会社 ヤマシタ  
セントラルメディカル株式会社  
株式会社 メディベック  
株式会社 サンウェルズ  
医療法人 団橋会 整形外科 米澤病院  
学校法人 阿弥陀寺教育学園

### D会員

医療法人 団あいずみクリニック  
有限会社 さわか金沢  
東洋羽毛北信越販売株式会社

## Web会員手続きQRコード



### QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。  
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。

## 会員数

会員数 844名 認定作業療法士 28名 専門作業療法士 5名



## 新入会員名簿

勤務先	氏名	勤務先	氏名
キッズルーム ポテト	大石 あかね	公立つるぎ病院	内藤 沙弥
太陽のプリズム白山annex	小谷 理沙		

## 編集後記

連載で新潟県の運転に関する支援の記事を紹介したが、最近、特に高齢者運転の事故のニュースが頻回に取り上げられている。我々の地域では高齢者が車を取り上げられることは死活問題に近い、複雑な心境である。しかし、ある利用者が、高齢者の運転が社会問題となったことで自ら自分の運転を振り返り、運転免許の返納の時期を考え、その後の生活を考慮し現在の生活目標(体力作り、移動手段等)を検討されていた。先の不安な事でふさぎ込むのではなく、出来なくなる前にその先を見据え考えようとされる姿勢に敬服し少しでもお役に立てればと思っている。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、田中菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、

寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、山梨珠美、南朱音、上野玲子、福岡翔平

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社